

1 法人又は団体による推薦
(秋田市農業委員会の委員候補者の推薦および募集に関する要綱第3条第2項)

番号 1

被推薦者（推薦を受ける者）									
氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業者であるか否かの別	
				年月	職名・役職・委員名等	営農類型	経営規模		
鈴木 昇	男	69	農業	H5. 4～H11. 3 H8. 4～H10. 3 H11. 4～H18. 6 H13. 4～H24. 3 H24. 4～H26. 3 H15. 6～H17. 1 H17. 7～現在	ゆうわ農業協同組合理事 JA ゆうわ寺沢支部長 新あきた農業協同組合理事 寺沢自治会役員 寺沢自治会長 旧雄和町農業委員 秋田市農業委員	水稻主体	水田 3. 9ha 畑地 0. 59ha	認定を受けている	
推薦者									
組織の名称	代表者等の氏名	活動の主たる目的	構成員		農地利用最適化推進委員への推薦				
			人数	資格、要件等					
秋田なまはげ農業協同組合寺沢支部	支部長 伊藤 進	農業施設の維持管理・転作の取り組みや確認等	18人	集落内農家と近隣農家関係者	推薦していない				
<p>(推薦理由) 被推薦者は、JAの理事や農業委員を長年務めており、また、土地改良区職員として在職中は、地域の農家と密接な繋がりを持ち事業を推進する等、その功績は大きい。地域農業及び農業事情に精通し、よき相談役として人望も厚く、地域農家からも信頼されており、地域農業の発展に必要な方と思っています。今後さらに農耕地の課題が山積するものと推測されますので、農業委員として活躍されることを切望し農業委員に推薦します。</p> <p>(農業情勢や本市農業への認識・理解度) 過去に農協の理事としての経験もあり、生産販売や農業経営の分野など広範囲に知識を有し、農業情勢にも詳しい。また、地域農家の良き相談役としての役割も担い、地域農業の中心的存在である。</p> <p>(農業委員の活動に役立つ知識・経験) 土地改良区職員としての経歴があり、土地の流動化に伴う諸制度の知識を発揮され、基盤整備事業の完成に尽力された。今は要職を離れているが、担い手農家や地域農家の相談役として、知識と経験を十分発揮している。</p> <p>(地域における活動など、これまでの活動) JA支部長や自治会長など長年務めるなど地域の信頼も厚い。現在は、農業の多面的機能支払事業の事務局を担い、また、新たに立ち上げた集落営農組織の管理、運営も担うなど、地域への貢献度は非常に高い。</p>									

番号 2

被推薦者（推薦を受ける者）									
氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業者であるか否かの別	
				年月	職名・役職・委員名等	営農類型	経営規模		
伊藤 洋文	男	72	農業	S54. 4～S56. 3 S57. 4～S59. 3 H6. 4～H17. 1 H17. 1～H26. 3 現在	雄和町連合青年会会長 秋田県連合青年会事務局長 雄和町公民館館長 秋田市立雄和図書館長 雄和中央土地改良区理事長2期 雄和芸術文化協会会長現在5期 秋田市農業委員4期 農業法人「アグリあいかわ」代表理事	水稻、大豆、枝豆、ネギ	水稻57ha 大豆39ha 枝豆4ha ネギ1. 8ha (アグリあいかわ)	認定を受けている	
推薦者									
組織の名称	代表者等の氏名	活動の主たる目的	構成員		農地利用最適化推進委員への推薦				
			人数	資格、要件等					
雄和中央土地改良区	副理事長 黒崎 晶裕	この土地改良区は、農業生産の基盤の整備及び開発を図り、もって農業の生産性の向上、農業生産の増大、農業生産の選択的拡大及び農業構造の改善に資することを目的とする。	506人	改良区の組合員 (農地の所有者又は三条資格者)	推薦していない				
<p>(推薦理由) 伊藤さんは長年の農業実践と地方公務員の経験を生かし、現在地域の土地改良区、地区保全会等の役員として活躍しており、又雄和地域の芸術文化団体の代表を務める等地域のまとめ役として力を発揮している。これからも農業、農村再生のために引き続き秋田市農業委員として活躍して頂きたい。よって当土地改良区は伊藤さんを推薦するものとする。</p> <p>(農業情勢や本市農業への認識・理解度) 伊藤さんは若者の農業離れの心配から、生まれ育った地域で生活できる体制を築くために、地元で農業法人を設立して農の雇用の創出、農業への楽しみを見出す環境づくりをはかっている。さらに、地域内の農地集積や農地利用調整等の相談役としての役割を担っている。</p> <p>(農業委員の活動に役立つ知識・経験) 伊藤さんは秋田市役所を退職後、自ら認定農業者を取得後地元で農業法人を設立すると共に、コスト削減と労力の軽減化を図るために水稻の直播栽培や転作物として、大豆、枝豆、ねぎ等に取り組んでいる。また、発足当時から代表を務めている(農)アグリあいかわは令和2年度に旧戸米川小学校体育館を活用した集出荷施設の整備等の取り組みが評価され秋田市農業大賞を受賞している。</p> <p>(地域における活動など、これまでの活動) 伊藤さんはこれまで地域における青年会活動を始め、各種社会教育活動を経験しており、地元の自治会長を歴任し現在は、雄和芸術文化団体等の代表として積極的に取り組まれており、地域のコミュニティづくりや文化の醸成に貢献している中心的人物である。</p>									

被推薦者（推薦を受ける者）								
氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		認定農業者であるか否かの別
				年月	職名・役職・委員名等	営農類型	経営規模	
佐々木 吉秋	男	79	農業	H4. 7～H5. 6 H5. 7～H20. 7 H20. 7～現在 R6. 8～現在	秋田市農業委員 秋田市農業委員 秋田市農業委員会会長 秋田県農業会議会長	稲作	12. 0ha	認定を受けている
推 薦 者								
組織の名称	代表者等の氏名	活動の主たる目的	構成員		農地利用最適化推進委員への推薦			
			人数	資格、要件等				
金足地区振興会	会長 藤原 正三	金足地区住民の親睦融和と地区発展を図ること。	18名	金足地区内の町内会長	推薦していない			
<p>(推薦理由)</p> <p>平成4年より今日まで農業委員、特に平成20年より現在まで農業委員会会長として、又、令和6年8月より秋田県農業会議会長として、秋田市はもとより秋田県農業の振興発展に大いに寄与しているものと考えます。今後も当地区を始め市内農地の基盤整備を推進し稲作プラス他作目、法人化による集落営農を目指す上でも彼のリーダーシップに期待するところが大きく、推薦したい。</p> <p>(農業情勢や本市農業への認識・理解度)</p> <p>米の需要の減少等々先の見通しの難しい中、秋田市農業の課題である稲単作からの脱却、担い手対策、耕作放棄地の解消、6次産業化への取り組み問題等々の課題解決へ向けての姿勢は大いに評価できます。</p> <p>(農業委員の活動に役立つ知識・経験)</p> <p>昭和40年高校卒業と同時に就農し、現在まで60数年一貫して稲作経営を続けており、特にコスト低減に向けて様々な努力を重ねていることは大いに評価できます。</p> <p>(地域における活動など、これまでの活動)</p> <p>これまで金足西小、秋田北中、金足農高のPTA会長、又、金足西学区体育協会会長、秋田市消防団金足分団長を歴任、現在も秋田市農委会長、秋田県農業会議会長、金足地区基盤整備推進協議会長、金足の自然と農業を守る会副会長、北部地区カントリーエレベーター利用組合理事として奮闘しており、地域活動に対する熱意は素晴らしいものがあります。</p>								